

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | こども発達支援ルームPLANET | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 12日 | | 2026年 2月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32名 | (回答者数) 18名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 12日 | | 2026年 2月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2026年 1月 12日 | | 2026年 2月 27日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象数) | 32名 | (回答数) 19名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 4日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 訪問支援員の知識・技術を日々高めていることから、適切なアドバイスができています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での情報共有 ・専門用語を用いずに伝えること ・当時者ご本人とのやりとりを大切にしていること | <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所とも支援についての情報共有の機会の拡充 ・連絡協議会の発足と実施 |
| 2 | 訪問先の時間軸を意識しながら、考えや支援方法を尊重して支援を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・普段行っていることの聴取をかかさずに実施している ・専門的な視点も踏まえて、肯定的な後押し ・その場にある物や環境を活用できるようにすること | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任の先生やクラスメイトも巻き込んだ支援・介入 |
| 3 | 支援内容をわかりやすく共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストを用いた報告書の作成 ・専門用語を用いずに伝えること | <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成 ・訪問先での支援者間での情報共有に報告書などを用いてもらえるように努めてまいります。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ニーズに見合った人員配置が不十分なこと | <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成、教育の機会が少ない ・多機能型で実施しており、兼任業務が多いため | <ul style="list-style-type: none"> ・OJTに加えて、事例検討会などの実施をしていきます。 ・業務兼任ができるスタッフを育成していきます。 |
| 2 | 支援内容についての外部への発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部への発信まで手が回っていない | <ul style="list-style-type: none"> ・外部への発信の優先度を上げ、その他の業務への時間配分を見直します。 ・訪問の準備など、普段の訪問支援員の様子から発信していきます。 |
| 3 | 先生たちの想いも含めた意見交換 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員の時間に限りがある ・訪問支援とは別で先生方の時間を提供していただく必要がある | <ul style="list-style-type: none"> ・対面にこだわらず、オンラインなどの手段を柔軟に検討します。 ・日程調整の段階で話し合いの機会の提案をしていきます。 |